

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちには地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。



2006(平成18)年11月15日 第403号

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部

発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1の2
保健会館 電話 03(3269)1131

<http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>

毎月15日発行 年間購読料 300円(1部30円)



わが国では、急速な人口の高齢化の進展によって疾病構造が変化し、生活習慣病が急増している。その対策として「健康日本21」をはじめとする施策が取り組まれているものの、その成果はいまひとつといった状況である。こうした中、今年6月、生活習慣病対策などを柱に据えた医療制度改革関連法が成立。2008年度から国保や健康保険組合といつた医療保険者に、40歳以上の加入者に対する健診・保健指導の実施が義務付けられることとなつた。こうした状況を踏まえ、10月13日、都内のホテルで開かれた第15回健康づくり懇話会総会では、これから的生活習慣病対策をめぐって2題の講演が行われた。総会には、事業所や健保組合で健康管理を担当している方々と、本会のスタッフ合わせて約110人が参加し、活発な情報交換や交流が行われた(写真左上)。

生活習慣病対策をめぐって 第15回健康づくり懇話会総会

総会では、まず、日本糖尿病進歩抑制研究会(JEDIIS)の市川一男事務局長(写真)が「糖尿病を」病息災にして、健康長寿を確保するには

JEDIISの研究成果に期待するもの」と題する講演を行った。

市川事務局長は、糖尿病の病態や進展経過、糖尿病の特徴、診断基準の変遷、治療の実際、病期ごとの医療費などを解説し、「糖尿病の付き合いは一生ものである。併発病を防ぎ、健康長寿をめざすことが治療の方針となる。そのため早期に発見して適切な治療を継続することが重要だと強調した。

室の大村良平室長(写真)が、「医療費の約3割を占め、今回の医療制度改革では、



また、糖尿病対策の研究としては、糖尿病の発症予防、治療中断率の半減、合併症の重症化防止といった3つのテーマで、国の糖尿病予防戦略研究が進んでいますほか、JEDIISが早期糖尿病の進行予防という見地から「日本早期糖尿病進歩抑制研究」を開始したとし、その概要を紹介した。

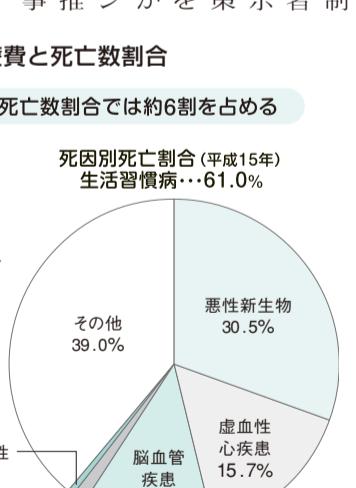
市川事務局長は、「JEDIISの研究は早期の糖尿病に効果的な治療が有効なのかを明らかにすることを目的としている」と述べ、「この研究を医療費抑制や将来のオーダーメイド治療法につなげたい」と結んだ。

これを受けた厚生労働省では、職能団体や医療保険者の代表らで構成する「保健

健診・保健指導の義務化に向けて、講演や情報交換

死亡数割合の約6割を占める生活習慣病(図)に着目。生活習慣病予防の徹底を中長期的な医療費適正化対策の柱の1つに位置づけ、「糖尿病などの生活習慣病有病者・予備群を2015年には25%減少させる」との政策目標を掲げている。

またその一環として、健診未受診者の確実な把握、保健指導の徹底、医療費適正化効果を含めた評価といった観点から医療保険者による保健事業の取り組みの強化を図るとし、医療保険者に2008年度から40歳以上の加入者(被保険者・被扶養者)に対する生活習慣病予防に着目した健診・保健指導の実施を義務付けた。



●— 今月の主な紙面 —●

〈1面〉 ●生活習慣病対策をめぐって
第15回健康づくり懇話会総会

〈2~3面(見開き)〉

- 連載 産業医訪問 第68回
- 話題 「メタボリックシンドロームと健康管理」
第209回ヘルスケア研修会から
- 連載 たばこ問題とその規制対策 第7回
- 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ
実践編 第7回

〈4面〉 ●国際先天代謝異常学会と国際新生児スクリーニング
学会が相次いで開催
●第2回読影医のためのマンモグラフィ症例検討会を開催一本会
●連載 保健会館クリニックの顔⑤
●人・往来

個人情報の取り扱いについて

日ごろより、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。

これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。そのうえで今後も継続して送らせていただきたいと考えております。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

◆◆◆コンサルテーションのごあんない◆◆◆

12月 6日 岡 悅治(健康管理コンサルタント)
13日 三輪祐一(東京都予防医学協会総合健診部長)
20日 岡 悅治
27日以降、年末年始は休み

お問い合わせ・ご相談は(予約制)

電話 東京(03)-3269-1141

健康管理コンサルタントセンター

事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1の2

(財)東京都予防医学協会

